

# オオサカン楽員の 楽器の小屋～オオサカンサウンドの源～

楽員と楽器の関係を探る連載企画、第8弾は \\ サクソフォン奏者 鈴木 陽平！ //  
楽器へのこだわりや大事にしていることを伺います。

サクソフォン  
鈴木 陽平 Yohei Suzuki



## 現在使っている楽器のメーカー名・モデル名は？

◆テナー・サクソフォン  
H.SELMER(セルマー)  
SERIEIII SP(シルバープレート)



テナーはフランスのSELMER社のSERIEIIIという楽器です。この楽器は通常のラッカー仕上げではなく、楽器全体が銀メッキで仕上げられています。製造番号は61万番台で、2001年頃の製品です。そしてオオサカンサクソフォンカルテットで担当しているアルト・サクソフォンも、銀メッキの楽器を使用しています。こちらは30年以上前に製造されたSA80 SERIEII SPというモデルです。SELMER社のサクソフォンは2010年頃から全てのモデルが「JUBILEE(ジュビリー)」というモデルにマイナーチェンジし、それ以前のものは「JUBILEE前」と呼ばれていました。

◆アルト・サクソフォン  
H.SELMER  
SA80 SERIEII SP



## 現在使っているテナー・サクソフォンを選んだ理由や気に入っているところは？

SELMER社の楽器の音色が大好きで選びました。SELMER社製品の面白いところですが、製造された年代で吹き心地や音色が少しずつ違います。私が使っている「JUBILEE前」と呼ばれる年代の楽器は、古さと新しさの音色のバランスがとても良いと感じています。オオサカンでは、吹奏楽のために書かれた古き良き名曲から、毎年作曲される新曲まで演奏し、さらに、多彩なジャンルの音楽も演奏します。それらを演奏するために必要な幅広い音色のコントロールが可能な楽器です。そして仕上げについてですが、テナーもアルトも銀メッキにしています。音色は明るめでハッキリしている様に感じており、オオサカンの華やかなサウンドと相性が良いと思って気に入っています。そして、これは完全に個人的な好みですが、銀色、カッコいいです。

## 楽器ケースのポイントは？



ケース自体は特別珍しいものではないですが、軽さと丈夫さを重視しています。持ち運ぶ際の身体への負担軽減も大事です。肩にかけるベルトに少しこだわりがあり、ビジネスバッグなどで有名なBRIEFING(ブリーフィング)というブランドのものを使用しています。こちらは楽器ケースによく付属しているものより、遥かに丈夫で品質も良くオススメです。ケース側面には2023年の第38回定期演奏会の際に作曲家の長生淳さんにサインをいただきました。ファンです。

## 練習の際、常に持ち歩いているものは？



サクソフォン演奏時に必要なもので、たくさん選択肢があるものといえばネックストラップ(首や肩にかかる負担を軽減させる器具)があります。私はBREATH TAKING(ブレステイキング)のLithe Premium II(ライザプレミアムII)というものを使用しています。楽器を掛けるフック部分は落下のリスクが低くて安心のセーフティフックタイプです。このストラップは、演奏時に首元が楽になりますし、個人的には腕から指までの運動を力まず、フリーに動かせると感じています。ソプラノからバリトンはもちろん、バス・サクソフォンなどの特殊な大型楽器にも使用できる、なかなか万能な製品です。

## テナー・サクソフォンのパーツに関して

◆リード  
Légère(レジェール) Signature 3.25

こちらは樹脂で製造されたリードです。サクソフォンは、フォルテの力強さ以上に他の木管楽器と同等かそれ以上のピアノ(弱奏)も必要となります。このリードはしっかり選び正しくセッティングすることで金管楽器と同等の大きな音から囁くような小さな音まで演奏可能となり、大活躍してくれます。



◆マウスピース  
SELMER S90 180

こちらもSELMER社の製品で、長年製造されている定番の製品のうちのひとつです。テナー・サクソフォン奏者に求められる、「幅広い音色」を出す手助けをしてくれるマウスピースだと思っています。



◆リガチャー  
①WOODSTONE(ウッドストーン) CLASSIC GP(金属製)  
②Bambu(バンブー) NOVA(紐製)

金属製のリガチャーと紐で作られたものを使い分けられるようにしています。傾向としましては、金属の方はパワーが出て、紐はより繊細な表現がしやすいかなと思います。リードや身体のコンディションによって傾向の違うものを数種類持っていると思安いです。



◆ネック

本体同様、SERIEIIIの銀メッキ仕上げです。本体以上に音色に影響する大事な部分で温かく明るい音色です。



## 楽器を演奏する時に大事にしていることは？

演奏する時は、常に頭の中で音色や音程をイメージしながら演奏するようにしています。音が鳴っているだけになっていないかなど注意しながら、音符や響きを大切に、いい和声感で音が並ぶように取り組みます。また、たくさんの楽器が集まって演奏する演奏形態では、正しい音程が求められます。メロディやハーモニーをみんなと一緒に演奏するために、楽器の持つ音程のクセが演奏に出ないように心がけています。一つにまとめると、声を出すように、歌うように演奏することが大事、という感じでしょうか。

## あなたにとって「サクソフォン」とは？

僕にとって楽器は、自分の声や歌、音楽を形にしてくれるものだと思っています。たくさん種類のある楽器の中でもサクソフォンは様々な音色で、様々なジャンルの音楽を演奏することのできる素敵な楽器です。そして吹奏楽におけるテナー・サクソフォンはシーンによっているんな楽器と同じフレーズを演奏します。ある時はクラリネットと、またある時はホルンやトロンボーン、ユーフォニアムと。もちろんサクソフォンパートとして活躍する時も。いろんな楽器の一つのサウンドとして繋ぐ架け橋だと思っています。人としても、そんな風にありたいと思っています。

